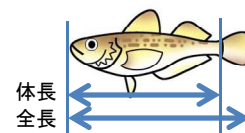


## 令和2年度沖合底曳網漁期前調査速報 ～鳥取県水産試験場からのお知らせ～

8月4～5日に青谷沖から隠岐東方海域、8月17～18日に日御碕沖から隠岐北方海域の水深198～251mの14地点（図1）において、試験船「第一鳥取丸」の着底トロール網（網幅22m、網高2m、袋網目合7節、日中30分間曳網/地点）を用いてハタハタを主とする底魚類の分布調査を行いました。その結果の概要についてお知らせします。

- 解禁後のハタハタ漁獲量は前年および近年5カ年平均を上回る見込み
- 本調査では青谷沖で比較的多く入網
- 魚体は小・小々銘柄（体長10～14cm）、中銘柄（14～18cm）が主体  
※前年に比べ、大銘柄（体長17cm以上）が多い



### 【結果の概要】

#### ハタハタの分布状況

- 1網（30分曳網）当たりの入網重量が100kgを超えたのは青谷沖水深198m（1,515.8kg）、青谷沖水深216m（1,602.3kg）、C魚礁北水深199m（112.0kg）、大瀬沖水深232m（100.0kg）、中江沖水深233m（342.5kg）、白島沖水深208m（110.0kg）、白島沖水深215m（175.7kg）、（表1）
- 漁獲物は中～小銘柄（体長14～18cm）主体となる見込み（図2，3）  
※前年に比べて大銘柄（3歳魚）が多い
- 2020年の調査による1網（30分曳網）あたりのハタハタの平均入網重量は301.2kg/網で、2019年の平均22.5kg/網より大幅に増加し、平年（2015～2019年）の75.0kg/網と比べてもかなり多い入網となった（表1）
- これまでの第一鳥取丸による8月の一網（30分曳網）あたりの漁獲量（kg）と鳥取県沖合底びき網9～12月の漁獲量の関係から2020年9～12月の沖合底びき網の予測漁獲量は563トンと前年同期（166t）を大きく上回ると見込む（図4，5）。  
※ 予測技術の開発途中であり、海況等によっては大きく変わる可能性がある

#### その他の魚種

- カレイ類は、アカガレイ、ソウハチ（えてがれい）、ヒレグロ（べら、やまがれい）の平均入網重量は概ね平年並
- 深海性バイ類は、白バイの入網重量は平年並みであり、赤バイはやや減少した。また、エビ類（クロザコエビ：もさえび等）も平年並みであった
- 特記事項としては、2019年に続き今年もスルメイカ（しまめ）（胴長15～25cm）が多かった。一方、ニシンとマダラはほとんど入網が見られなかった。そのほか、ハツメが日御碕沖で比較的多く入網した。

#### 大型クラゲに関する情報

今回の調査で大型クラゲ（主にエチゼンクラゲ）が確認され、中江沖で比較的多かった。全地点の平均個体数は2.5個体/網と昨年の6個体/網より少なかった。操業の際は、御注意ください。

担当：海洋資源室 野々村  
電話：0859-45-4500

表1 沖底漁期前調査結果(2020年)

※ 調査を実施した順に記載しています。

調査日	時間	天気	曳網 方向	調査点	表水温 (°C)	近底層水温 (°C)
8/4	12:43	晴	46°	青谷沖 198m(St. 1)	25.1	5.1(180m)
8/4	14:15	晴	340°	青谷沖 216m(St. 2)	25.5	3.0(215m)
8/4	16:17	晴	160°	青谷沖 251m(St. 3)	25.9	2.2(245m)
8/5	7:18	晴	346°	C魚礁北 199m(St. 4)	25.3	3.7(190m)
8/5	8:52	晴	334°	大瀬沖 199m(St. 5)	25.2	4.7(195m)
8/5	10:22	晴	1°	大瀬沖 213m(St. 6)	25.8	3.1(210m)
8/5	12:22	曇	150°	大瀬沖 232m(St. 7)	26.3	2.5(230m)
8/17	15:02	晴	70°	日御碕沖 207m(St. 13)	27.7	1.6(205m)
8/17	16:52	晴	76°	日御碕沖 232m(St. 14)	27.2	1.3(225m)
8/18	8:07	晴	190°	中江沖233m(St. 12)	25.0	1.2(210m)
8/18	9:46	晴	41°	中江沖192m(St. 11)	24.8	2.7(185m)
8/18	12:18	晴	32°	白島沖215m(St. 9)	25.4	1.5(215m)
8/18	13:51	晴	177°	白島沖208m(St. 8)	25.4	2.3(200m)
8/18	15:42	晴	137°	白島沖235m(St. 10)	25.7	1.4(230m)

	一網(30分曳網)当たりの漁獲量(kg)														( ):入網数	
	ハタハタ 合計	小 10~14cm	中 14~18cm	大 18cm以上	アカガレイ エテ	ソウハチ ペラ	ヒレグロ	エビ類	白バイ	赤バイ	ニシン	マダラ	ホッケ	ミズダコ		スルメイカ シマメ
青谷沖 198m(St. 1)	1,515.8	422.2	1,012.5	81.1	0.0	1.8	0.2	0.0	0.9	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	47.0	(0)
青谷沖 216m(St. 2)	1,602.3	348.9	1,059.7	193.7	7.2	34.8	6.8	0.0	0.3	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	38.2	(0)
青谷沖 251m(St. 3)	22.2	2.6	11.2	8.4	10.9	1.2	2.7	4.4	1.9	2.5	0.0	0.9	0.0	0.0	33.5	(0)
C魚礁北 199m(St. 4)	112.0	22.1	84.3	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	24.3	(0)
大瀬沖 199m(St. 5)	29.2	11.2	17.6	0.4	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	5.2	0.0	0.0	0.0	12.0	16.3	(1)
大瀬沖 213m(St. 6)	40.2	10.0	23.5	6.8	0.4	0.0	0.0	1.9	0.4	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	21.5	(0)
大瀬沖 232m(St. 7)	100.0	22.8	45.0	32.2	8.5	0.3	6.5	3.4	1.2	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	22.3	(0)
日御碕沖 207m(St. 13)	28.4	12.5	11.9	4.1	0.0	2.1	1.3	0.8	0.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	(0)
日御碕沖 232m(St. 14)	3.8	0.7	1.9	1.2	0.0	0.0	0.6	0.4	0.1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	(0)
中江沖233m(St. 12)	342.5	268.7	65.4	8.4	0.3	0.0	4.1	6.3	18.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(13)
中江沖192m(St. 11)	72.0	21.3	42.0	8.7	36.5	1.5	11.5	0.0	0.5	3.3	0.4	1.1	0.0	0.0	17.5	(8)
白島沖215m(St. 9)	175.7	62.1	93.1	20.5	6.4	0.0	5.3	2.4	0.7	2.6	0.3	0.6	0.0	0.0	0.0	(4)
白島沖208m(St. 8)	110.0	26.4	59.7	23.9	13.3	0.0	37.5	2.0	1.0	5.8	1.6	1.4	0.0	0.0	11.4	(5)
白島沖235m(St. 10)	63.0	15.3	35.0	12.7	3.8	0.0	2.1	0.6	1.2	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	(4)
2020年 平均値	301.2	89.1	183.0	29.1	6.2	3.0	5.6	1.6	1.9	4.0	0.2	0.3	0.0	0.9	16.8	(3)
2019年	22.5	6.2	13.7	2.6	14.1	4.3	7.8	1.3	1.7	6.7	34.9	2.7	0.1	0.9	12.1	59.0(6)
平年(2015~2019年)	75.0	8.1	48.6	18.4	9.6	2.2	3.9	1.2	1.8	6.1	18.0	2.6				

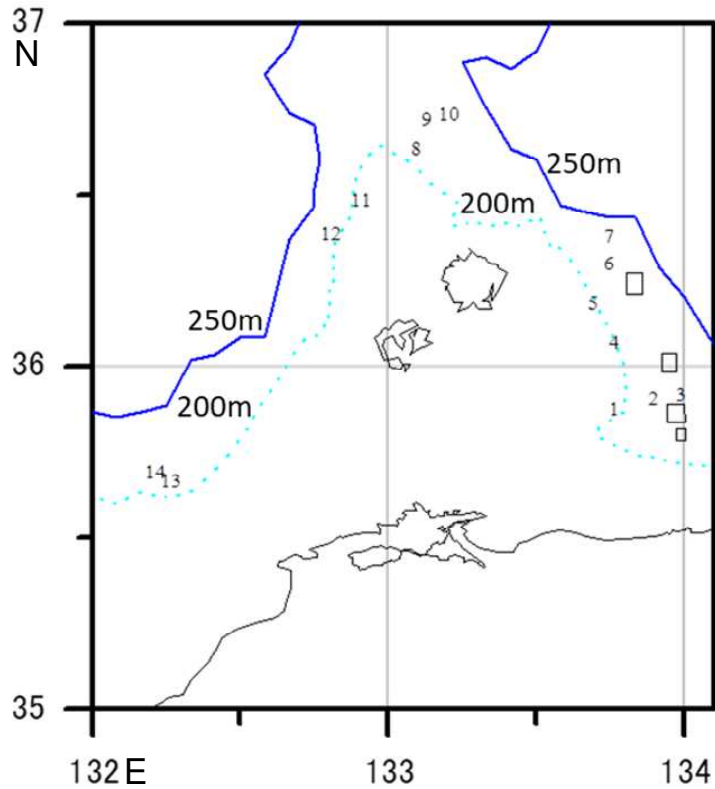


図1 沖合底曳網漁期前調査地点

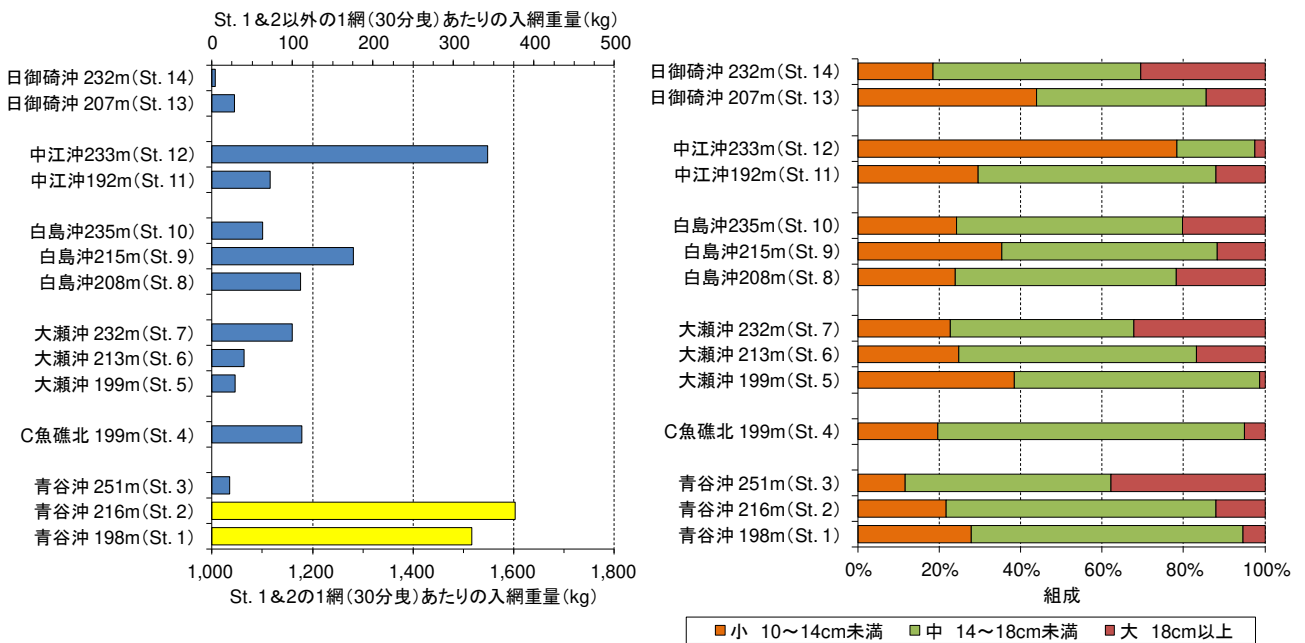


図2 2019年沖合底曳網漁期前調査によって漁獲されたハタハタの漁獲量(左)と体長組成(右)

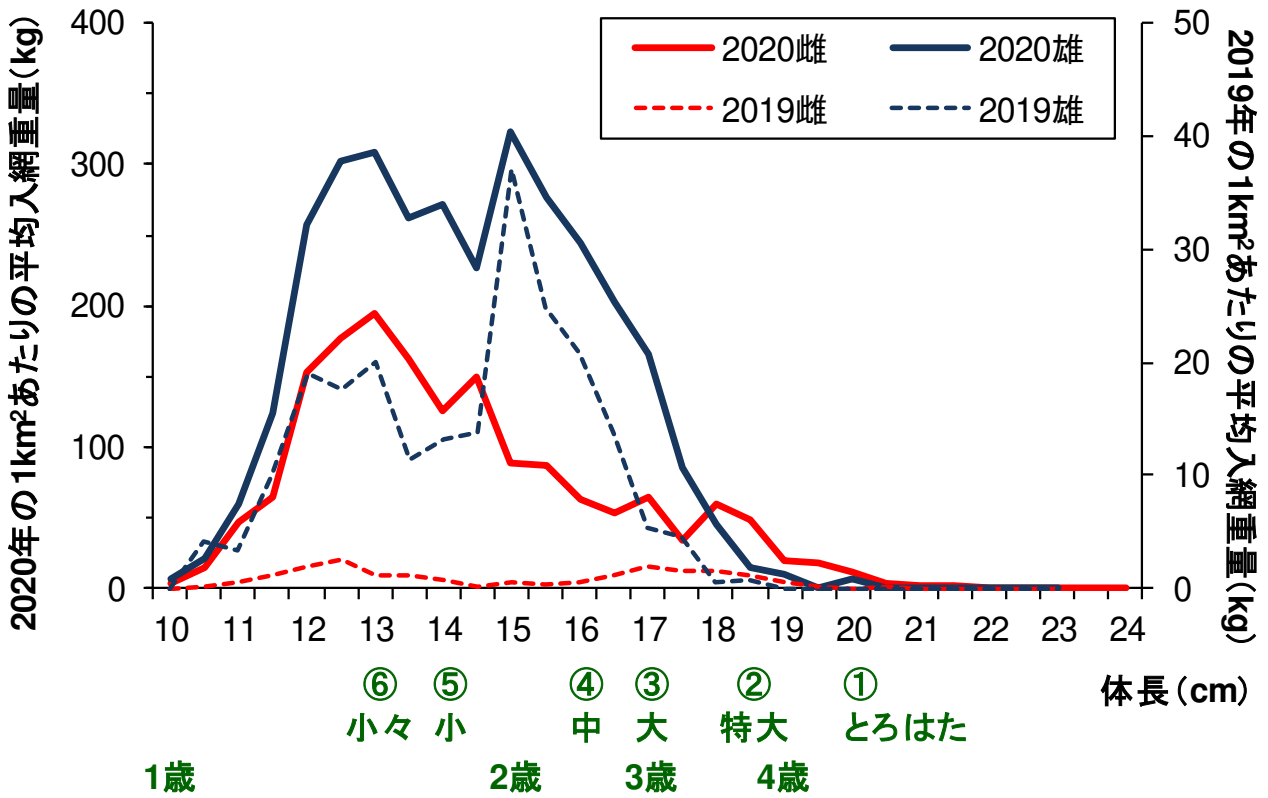


図3 第一鳥取丸によって漁獲されたハタハタの1km²あたりの体長別漁獲量(kg)

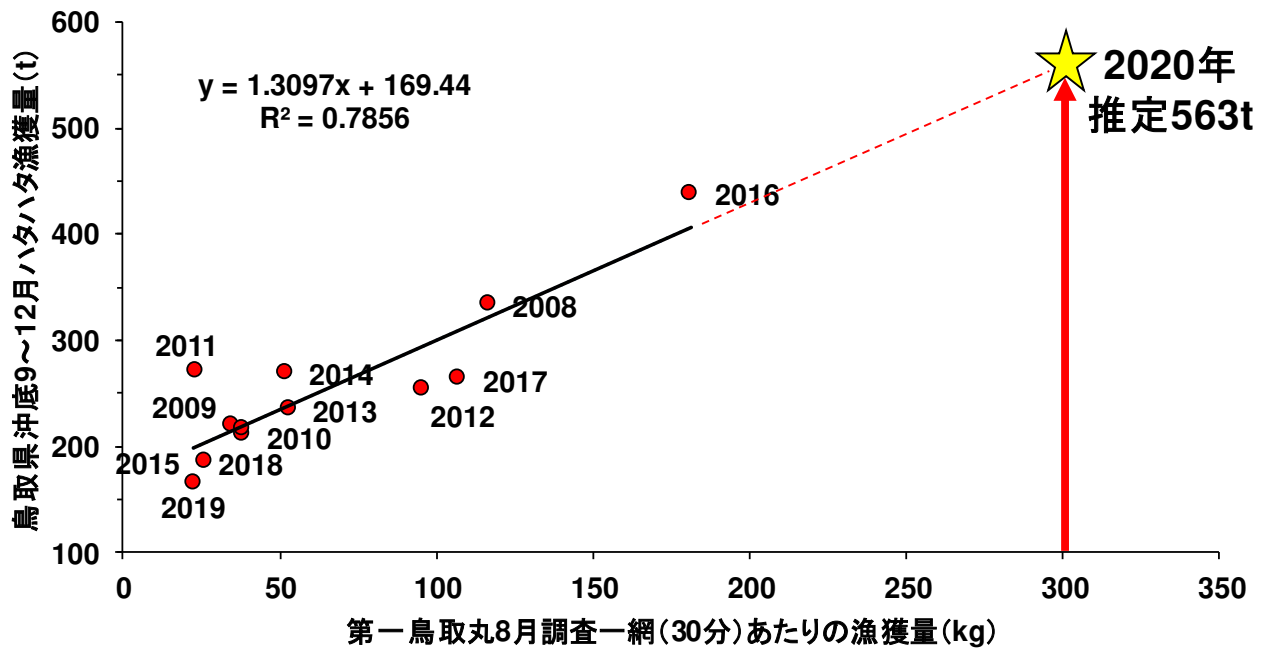


図4 第一鳥取丸8月調査における一網(30分曳網)あたりの漁獲量と鳥取県沖合底びき網漁業によって漁獲された9~12月のハタハタ漁獲量の関係

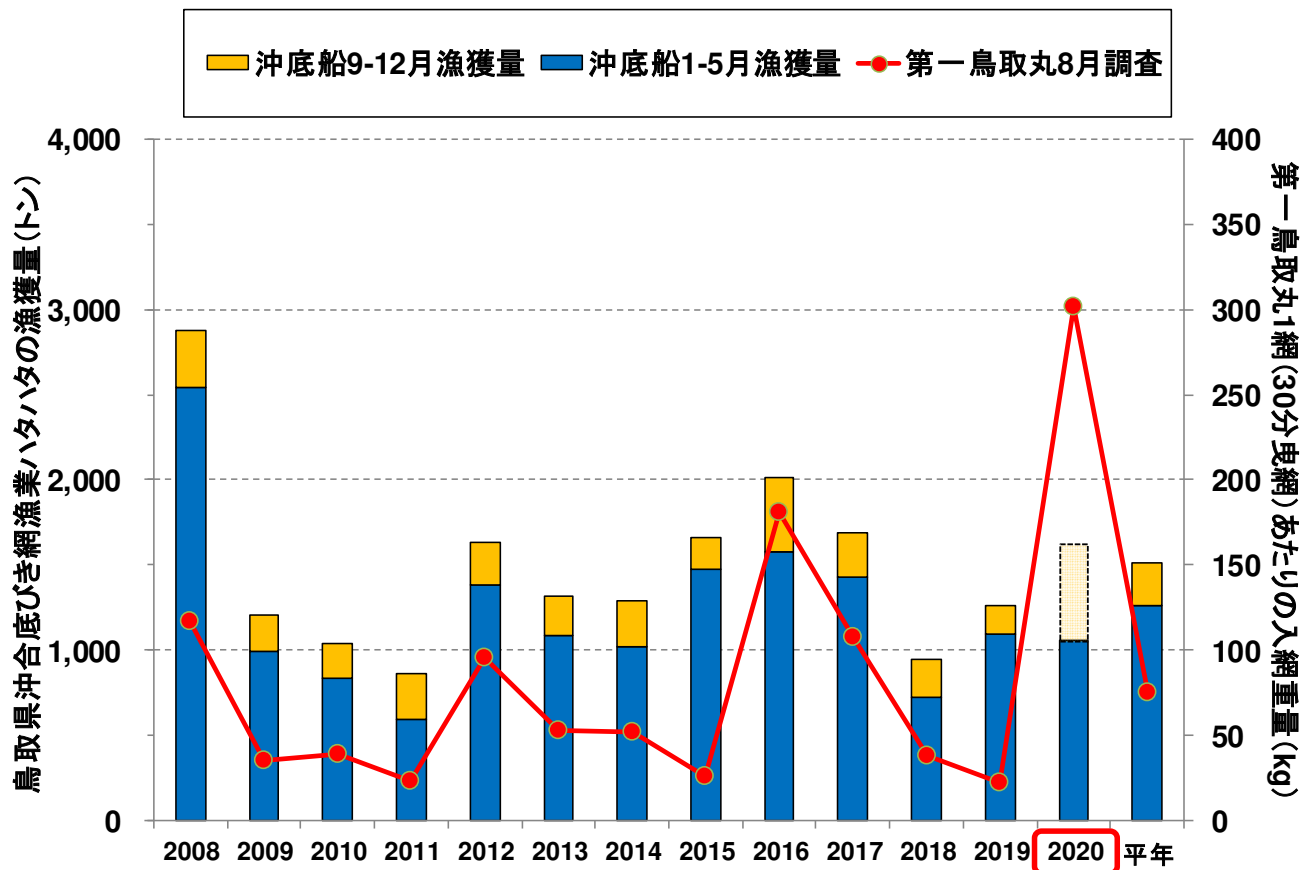


図5 第一鳥取丸によるハタハタの入網重量(折れ線グラフ)と沖底船漁獲量(棒グラフ)